

# 国立西洋美術館を世界遺産に！！

## 「ル・コルビュジエの建築と都市計画」

The Architectural and Urban Work of Le Corbusier



【発行】 2010(平成22年)年4月 台東区世界遺産登録推進室 Tel.03-5246-1111

## 国立西洋美術館(本館)は築50年！ 近代建築でも世界遺産に登録されるの？

世界文化遺産には、古代の遺跡やキリスト教関連遺産をはじめ、歴史的な建物や都市が多く登録されています。

近年、20世紀以降に造られた建築物等(20世紀建築)が注目され、世界遺産として登録されています。

昨年6月、開館50周年を迎えた国立西洋美術館は、まさに20世紀建築。世界的に有名な建築家ル・コルビュジエの作品群の推薦は、20世紀建築であり、かつ複数国にまたがる連続性のある資産であることから、その登録が注目されています。

シドニーオペラハウス(豪国)は、1973年完成の建物。建築家ヨーン・ウッツソンの設計。まだ築37年！



	主な遺産(名称)	所在国	登録年
1	ブラジリア	ブラジル	1987年
2	ヴァイマルとデッサウのバウハウスとその関連遺産群	ドイツ	1996年
3	建築家ヴィクトール・オルタによる主な邸宅群(ブリュッセル)	ベルギー	2000年
4	リートフェルト設計のシュレーテル邸	オランダ	2000年
5	ブルノのツゲントハット邸	チェコ	2001年
6	テルアビーブのホワイトシティ -近代化運動-	イスラエル	2003年
7	ル・アール、オーギュスト・ペレによる再建都市	フランス	2005年
8	シドニーオペラハウス	オーストラリア	2007年
9	メキシコ国立自治大学の中央大学都市キャンパス	メキシコ	2007年
10	ベルリンの近代集合住宅群	ドイツ	2008年



施設見学会の様子  
(H22年3月1日)

### レポート(Report)1

#### 国立西洋美術館の施設見学会を実施しました。

3月1日、15日、29日、国立西洋美術館の施設見学会が行われました。

いずれの日も、同美術館の甲野副館長の案内により美術館本館の建物、前庭を見てまわりました。その際、美術館建設の歴史的経緯やル・コルビュジエによる建築的特徴、世界遺産登録への取組み等について解説され、参加された皆さんは、とても興味深く見学されました。

## 世界遺産に推薦しているル・コルビュジエ作品②

### ロンシャンの礼拝堂 (Chapelle Notre-Dame du Haut)

フランス東部、スイスとの国境に近いロンシャンという町の小高い丘に、ノートル・ダム・デュ・オー礼拝堂 (Chapelle Notre-Dame du Haut) が建っている。一般には、地名から「ロンシャンの礼拝堂」と呼ばれている。

ロンシャンは巡礼地として知られているが、中世に建てられた石造りの礼拝堂は、第2次世界大戦中、ナチスの空爆により破壊された。戦後、アラン・クチュリエ神父は、近代建築による教会の再建を願い、ル・コルビュジエに設計を依頼した。

礼拝堂は、1950年に建設着工し、1955年に竣工した。建物のファザード、構造等については、ル・コルビュジエが提唱する「近代建築の5原則」に基づく機能性・合理性を重視した表現とは異なり、「カニの甲羅が屋根の形になった」と自ら言うように、独特な非幾何学的な造形をなしている。また、厚い壁に施された不規則な採光窓には色ガラスがはめ込まれ、幽玄な内部空間を演出している。

ル・コルビュジエによる前期の「白い箱型」住宅に代表されるサヴォワ邸とともに、ロンシャンの礼拝堂は後期の代表作と呼ばれている。



ロンシャンの礼拝堂

### ル・コルビュジエと家具

ル・コルビュジエは建築分野以外にも広くその才能を発揮しました。その一つが家具のデザインです。

シャルロット・ペリアン (Charlotte Perriand 1903-1999) らと共に製作した家具は、「LCシリーズ」として、今でも多くの方々に愛されています。

国立西洋美術館本館1階にも置かれているので、座り心地を試してみたいはかがでしょうか。



### レポート(Report)2

#### 桜橋花まつりで登録推進 PR 活動を実施しました。

4月3日、4日、桜花爛漫のもと、区立隅田公園で桜橋花まつりが開催されました。両日とも、来場者の皆様に普及啓発用パンフレットを配布し、国立西洋美術館の世界遺産登録に向けて更なる、理解と支援をお願いしました。



会場内の様子  
(平成22年4月3日)